

美幌町義務教育学校基本構想（案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施結果

資料番号1

令和7年12月16日(火)から令和8年1月26日(月)までの間、「美幌町義務教育学校基本構想(案)」について、パブリックコメント(意見公募)手続を実施したところ、7件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、ご意見に対する町の考え方及び回答を取りまとめましたので、次のとおりお知らせいたします。

No.	区 分	ご 意 見 概 要	町 の 考 え 方	回 答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・施設一体型の義務教育学校とする理由 ・建設予定地及び建設形態 ・建設に係るスケジュール ・その他（パブコム方法） 	<p>本構想は、美幌町の将来にわたる教育環境や地域の在り方に大きな影響を及ぼす重要な計画であると考えています。その前提のもと、以下の点について意見を述べます。</p> <p>【複数の学校再編案の比較検討結果】 まず、町内には現在、小学校・中学校合わせて5校が存在しており、すべての学校が直ちに老朽化により使用困難な状況にあるわけではないと認識しています。その中で、なぜ「1校に集約した施設一体型の義務教育学校」という選択が、現時点で最も適切であると判断されたのかについて、住民にとって十分に比較・検討できる情報が提示されているとは言い難いと感じています。 例えば、現行5校を段階的に改修・維持する案や、2～3校程度への再編案など、複数の選択肢について、将来的な財政負担、通学距離や安全性、地域コミュニティへの影響等を含めた比較検討結果を、より具体的に示していただきたいと考えます。</p>	<p>【複数の学校再編案の比較検討結果】 学校再編案の比較検討につきましては、5校を改修しながら維持する場合、施設の長寿命化も含め今後20年間で154億円の経費がかかると見込んでおりますが、1校に再編する場合には131億円になると試算しております。また、2校に再編する場合には、少子化に伴う児童生徒数の減少により、令和13年度には1クラスの学年が生じるため、集団活動が困難となる恐れがあります。 コスト面もそうですが、9年間を見通した持続可能な教育環境の確保を最優先に考え、施設一体型の義務教育学校1校への再編が望ましいと判断したところです。 令和7年3月に策定しました「美幌町義務教育学校整備基本方針」では、通学距離やハザードマップ、都市計画の観点から整備候補地の比較検証を行い、その内容について説明会や町ホームページ等により町民の皆様へお知らせし、ご意見をいただきました。また、令和7年5月に設置しました開校検討委員会において、PTAや学校運営協議会、自治会関係者等の委員の皆様と意見交換を重ね、本基本構想案において美幌小学校を建設予定地に選定いたしました。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後の小中一貫教育の推進・義務教育学校の整備のための参考とさせていただき、基本構想は原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>【事業費・事業方式・事業者選定プロセスの透明化】 次に、施設整備に関する点についてです。義務教育学校の新設や拡張には多額の公費が投入されることが想定されますが、工事費の概算、将来的な増額リスク、事業方式（設計・施工分離、デザインビルド方式等）、および設計・施工事業者の選定方法について、現時点でどのような透明性確保策が検討されているのかが明確ではありません。今後、特定の事業者に有利とならないよう、選定基準やプロセスの公開を含めた丁寧な説明が不可欠であると考えます。</p>	<p>【事業費・事業方式・事業者選定プロセスの透明化】 令和8年度の基本設計では、公募型プロポーザル方式による事業者選定を予定しておりますが、その場合、選定基準等について公開いたします。また、事業者を選定する際の審査会においては、町教育委員会の職員のみならず、外部の審査員を指名することで、公平性を確保することを考えております。 事業の推進にあたっては、設計から施工の各段階において説明会等を開催して町民の皆様に詳細をお知らせし、プロセスの透明化に努めてまいります。</p>	

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>【パブリックコメントの実施方法等】 また、今回のパブリックコメントの実施方法そのものについても懸念があります。意見提出がフォーム入力等に対応しておらず、提出方法が限定されていることに加え、氏名・住所の記載が必須となっているため、意見表明の心理的ハードルが高くなっていると感じます。特に教育行政という性質上、子どもや学校との関係を考慮して、慎重な意見や懸念を持ちながらも提出を控える住民が少なからず存在すると考えられます。</p> <p>このような方式では、結果として発言に慣れた人や、影響を受けにくい立場にある「声の大きい意見」が拾われやすくなる一方で、沈黙している多数の住民の考えが可視化されにくくなるおそれがあります。重要な意思決定においては、提出された意見の数だけでなく、「どのような声が制度上拾われにくかったのか」にも配慮する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>以上を踏まえ、今後は以下の点について検討を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校再編案を並列に示し、それぞれの長期的影響を比較できる情報提供 ・施設整備に関する事業費・事業方式・事業者選定プロセスの透明化 ・匿名意見の併用やオンラインフォームの導入など、意見提出方法の多様化 ・専用サイトの設置等により、構想内容や意見募集の存在そのものをより広く周知すること <p>本構想が、将来にわたって町民から納得と信頼を得られるものとなるよう、意思決定の過程における情報公開と意見聴取の実効性を一層高めていただくことを強く望みます。</p>	<p>【パブリックコメントの実施方法等】 「美幌町パブリックコメント手続条例」では、意見の提出方法として氏名・住所の記載を必須としておりますが、ご意見の内容を確認する場合の連絡先として使用しており、実施結果の公表時には個人情報保護の観点から氏名・住所は掲載しておりません。また、パブリックコメントのほか、説明会やまち育出前講座を開催し、町民の皆様との意見交換に努めてまいりました。</p> <p>本基本構想案の内容や意見募集につきましては、町ホームページの義務教育学校専用サイトへの掲載のほか、町広報誌、公式LINEや報道機関への記事掲載等により周知しております。</p> <p>ご意見いただきました内容を参考に、より多くの皆様のご意見を集約し、事業に反映できるよう、検討を進めてまいります。</p>	

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
2	<p>・美幌町が目指す 小中一貫教育 ・建設予定地及び 建設形態</p>	<p>【声なき声の集約】 率直に申し上げますと、反対意見も言わず、去る選択肢を持った方がどの程度なのかという疑問があります。 過日、昨年の事になりますが、旭小学校のPTA消滅案が提案され、説明会の場を設けましたが、参加者はPTA役員のみでした（しかも全員ではない）</p> <p>共働き世帯が多い中、どうせ学校がなくなるのだし、意見を言う時間があるならば目の前の雑用を片付けてしまいたいし子供の少年団の送迎もある。そもそも面倒くさいしよくわからない、意見の言いようもない…自分の子供には関係ない。数年年我慢すれば良い…。とりあえず日々を過ごしている方が多すぎる環境なのだと改めて思いました。</p> <p>85億と言う金額は多すぎますし、実際に出来た頃、よほどの実力ある先生が揃わなければ学校崩壊すると思っている現場関係者も多そうですが、その方たちは敢えて言わず、どうせ違う学校に赴任になるかもしれないし…とも思っていらっしゃるのが実情の様です。</p> <p>声なき声をくみ取る事が最重要なのではと危惧を感じました。 端野に家を建てる、三輪より先に家を建てる、そうすれば遠軽高校に通学できる。 大空高校や遠軽高校が思いがけず人気でびっくりしましたし、北見北斗の理数科では文系科目が通用しないと言う失策も有った様です。</p>	<p>【声なき声の集約】 基本構想の策定にあたっては、学校関係者や子育て世代、一般公募など町民22名で構成する「開校検討委員会」を設置し、様々な観点から意見交換を重ねてまいりました。また、パブリックコメントのほか、説明会やまち育出前講座を開催し、町民の皆様との意見交換も行っております。</p> <p>本基本構想案の内容や意見募集につきましては、町ホームページの義務教育学校専用サイトへの掲載のほか、町広報誌、公式LINEや報道機関への記事掲載等により周知しております。</p> <p>ご意見いただきました内容を参考に、より多くの皆様のご意見を集約し、事業に反映できるよう、検討を進めてまいります。</p>	<p>いただきましたご意見につきまして、今後の小中一貫教育の推進・義務教育学校の整備のための参考とさせていただき、基本構想は原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>【完成時期や財源】 完成予定を後5年なり先送りにして、財源を異なる活用をして、様々な世代に便を図るその様な順番が先ずは必要であり、それによってここならば長い目で見て子育て環境が良いと思う方々も増えるのではと思います。</p> <p>【段階的な統合】 スライド式統合でしっかり取り組みながら行うのが望ましいかと思えます。 聞いた話ですが、北中学校と美幌小学校は連携が上手く行く流れがある様です。 その規模でしたらスムーズな運営も可能かと思えます。 東陽小学校と美幌小学校も吹奏楽では連携が出来ている様ですが旭小学校の子供たちは吹奏楽では不利な環境を強いられています。 東陽小学校に旭小学校を吸収合併し、通学者を無くさない地域を守り、旭小学校に隣接する美幌中学はそのままもしくは旭小学校に移動、中学校の場所に美幌高校を持ってくる。 やがて減少の後は、美幌小学校にすべて統合していく。</p> <p>と言う流れならば不公平感は緩和されるのではと思いますし美幌高校の活動環境が改善され、峠へ向かう観光客にもアピール出来ると思えます。 生徒にとっても近くにお店があるので楽しさが増えると思えます。</p>	<p>【完成時期や財源】 【段階的な統合】 少子化に伴う児童生徒数の減少により、例えば2校に再編する場合、令和13年度には1クラスの学年が生じるため、集団活動が困難となる恐れがあります。 コスト面もそうですが、9年間を見通した持続可能な教育環境の確保を最優先に考え、施設一体型の義務教育学校1校への再編が望ましいと判断したところです。 令和7年3月に策定しました「美幌町義務教育学校整備基本方針」では、通学距離やハザードマップ、都市計画の観点から整備候補地の比較検証を行い、その内容について説明会や町ホームページ等により町民の皆様へお知らせし、ご意見をいただきました。また、令和7年5月に設置しました開校検討委員会において、PTAや学校運営協議会、自治会関係者等の委員の皆様と意見交換を重ね、本基本構想案において美幌小学校を建設予定地に選定いたしました。</p>	

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>【広い視野での子育て支援】 現在、全国的にもこども中高生プラザなど、高校卒業までの環境を見直す動きが出てきております、部活も義務化ではなくなり、様々なスタイルや現地の少年団との連携、暇なこどもたし、共働きで誰もいない家にいる、ネグレクトやDV、各種ハラスメントなど、その様な子供たちの居場所を作るのは、何も学校だけではありませんし、高校生にとっても町外の高校に進学する事に対する様々な問題も出てきます</p> <p>中学校までが子育てではない事を今一度考えなおして頂ければと思います</p> <p>私自身も、少年団の送迎時間は仕事で多子世帯にも、兄弟が希望活動が別々ならば猶更送迎に無理が生じてくると言うのを実感しています。</p> <p>親の都合で育成に参加できない問題に目を向けるのも、これからの子育て支援の一つなのではないでしょうか？</p> <p>また、学校がなくなる地域には、子育てをするにあたり、家を建てる選択が減ってしまい、美幌小学校界隈の地価が上がれば、じゃあ無理してそこに建てないで端野に行っちゃおうか？と言う事に更に拍車をかける事になってしまいます。</p> <p>移住者の年齢を考えても、病院が良いから終の棲家となっても、多くの地域と言う選択肢の中で規模の関係で小さな小中一貫校ならばよいけれど、大きいのはちょっと・・・と抵抗がある保護者も、視野を広げれば気づきもあるかと思えます。</p>	<p>【広い視野での子育て支援】 令和8年度に設置する開校準備委員会の専門部会において、小中一貫教育の具体的な取組を協議する予定です。高校までを見据えた子育て支援、子育てのための地域の環境整備、図書館のあり方など、ご意見いただきました内容を踏まえ、専門部会において協議を進めてまいります。</p>	

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>早来町の規模と、道の駅で地場産の物が売れて活気があり、にぎわっている環境で町民が充足感を抱いている環境と、美幌峠の売上と町民生活が乖離した美幌町では、それはまた違う話だと感じます。</p> <p>むしろ駅の環境を整えて空港バス用の駐車場を確保して利便性を上げ、津別のようにストレスないバスターミナルの中にぼっぼ屋、くつろぎスペースやWi-fiの学習環境を整える事も、子育て支援の一環となり、他地域からの美幌高校通学生にもありがたい環境となると考えます</p> <p>中学校で終わらない子育て支援を再考して頂ければと思います。</p> <p>小中一貫校にとまらない、美幌高校存続、こども中高生プラザ、子育て支援センター、図書館、町中に図書館分室など、広い視野での子育て支援を考えるまちづくりを期待したいと存じます。</p>		

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
3	<p>・目指す子供像と育成したい資質・能力</p>	<p>【包括的性教育の導入】 基本構想P8 美幌町小中一貫校が目指す子ども像にある「心豊かで自他を尊重し、共に高め合う子ども」を実現するためには、包括的性教育を前期課程から後期課程まで9年間学ぶことが重要だと考えます。包括的性教育は、従来の性教育ではあまり扱われてこなかった人権ベースに多様性を尊重した人間関係について学ぶもので、科学的根拠を元にした人権教育です。科学的に身体について学び、家族にはさまざまな形があることや、性暴力の加害者にも被害者にもならないために、同意と尊重を重視したコミュニケーションの大切さを学びます。性情報が溢れる現代を生きる子どもたちは、自他ともに大切にしていより良い関係性を紡ぐため、不可欠な学びだと思います。</p> <p>宮崎県では子どもの性被害増加などを背景に県内全ての小中学生に包括的性教育を実施するために、教育委員会の方が助産師、保健師、養護教諭、産婦人科医師と勉強会を開催し、指導計画と指導案づくりを行い、2026年度からの実施を進めていると「NHKてげオシ！1月8日（金）」で配信されていました。</p> <p>美幌町で生まれ育ったオホーツク管内養護教諭の私としては、これからの町や社会をつくる子どもたちに、ぜひ包括的性教育を実施してほしいと願います。また民間の性教育団体で長年学んできた知識やネットワークを駆使して先生方の学びの保障や実施しやすい形を模索し、美幌町の子どもたちの幸福度を上げられるような指導計画の作成や、指導案・資料の準備など微力ながらできると考えております。ぜひご検討願います。</p>	<p>令和8年度に設置する開校準備委員会の専門部会において、小中一貫教育の具体的な取組を協議する予定です。ご意見いただきました「包括的性教育の導入」につきましては、先進事例等を情報収集の上、専門部会において協議を進めてまいります。</p>	<p>いただきましたご意見につきまして、今後の小中一貫教育の推進・義務教育学校の整備のための参考とさせていただきます。基本構想は原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご 意 見 概 要	町 の 考 え 方	回 答
4	・美幌町の義務教育学校の整備方針	<p>【避難所としての機能】 21日の町民説明会では丁寧な説明ありがとうございます。 義務教育学校の整備方針の(3)地域に開かれた美幌の未来を拓く学校に記載のある「避難所」なのですが、避難の施設として使わないようには出来ないでしょうか？</p> <p>財政面や、施設整備、人員の配置等いろいろな課題は有るかと思いますが、大きな災害が起きると学校の体育館が避難所となり、長く子ども達の教育や学習の場が使えなくなる報道を目にします。</p> <p>子ども達には災害の記憶を取り払って、いち早く平常に戻って学習できるように避難所の機能を外して頂きたい。</p>	<p>現美幌小学校は本町の指定避難所となっており、災害時における周辺住民の避難場所として重要な役割を担っております。そのため、避難所としての機能を解除することは難しいことから、子ども達の教育環境への影響を最小限に留めるよう、町長部局と協議の上、学校運営に努めてまいります。</p>	<p>いただきましたご意見につきまして、今後の小中一貫教育の推進・義務教育学校の整備のための参考とさせていただきます。基本構想は原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
5	<p>・目指す子供像と育成したい資質・能力</p>	<p>【スクールワイドPBSの導入】 全国的に、不登校やいじめ問題が取り上げられ、毎日のように悲しいニュースが流れてきています。不登校は何らかの理由で学校がその子にとっての嫌悪的な場になってしまうことが要因の一つと考えられます。いじめ問題は加害側の子どもたちの（時には、指導者や教員の）ストレス誘導性の攻撃行動だということが研究からわかってきています。このようなアンハッピーな状態を防ぐために、美幌に新しく構築される義務教育学校の目指す子ども像1，と2が掲げられたと私は考えています。そのために私は『罰なき学校』を作っていくって行っていただきたいと思います。</p> <p>『罰なき学校』を作るために、徳島県や宮崎市、その他の自治体や学校単位で取り入れている『スクールワイドPBS』の導入を強く要望します。『スクールワイドPBS』の導入は、不登校の減少や子どもたちの行動の変化に効果があることが実証されています（応用行動分析学会のHP、徳島県教委委員会のHPに実践報告が多数挙げられています）。教員と子どもたちの関係性が改善され、大人も子どももハッピーになれる学校環境を作ることができ、教員の精神的な疾病も防ぐことができると考えられます。</p> <p>日本の子どもたちは、健康で学力があるのに幸福度が世界の中で最下位に近い現状があります。その理由の一つに、日本の子どもたちは認められた経験が少ないことが考えられます。『スクールワイドPBS』の取り組みの中で、認められる体験が増え、子どもたちは美幌にできる義務教育学校が目指す子ども像の中にある、向上心や主体性、チャレンジ精神、コミュニケーション能力、粘り強さ等を獲得していくことが容易になります。毎日子どもたちが楽しく学べる環境が大人が方法を知り導入することでできるのです。</p> <p>私は、教員も保護者も何より中心にいる子どもたちが幸せに9年間を過ごせるために、『スクールワイドPBS』導入をしていただきたいです。</p>	<p>令和8年度に設置する開校準備委員会の専門部会において、小中一貫教育の具体的な取組を協議する予定です。ご意見いただきました「スクールワイドPBSの導入」につきましては、先進事例等を情報収集の上、専門部会において協議を進めてまいります。</p>	<p>いただきましたご意見につきまして、今後の小中一貫教育の推進・義務教育学校の整備のための参考とさせていただき、基本構想は原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
6	・美幌町の義務教育学校の整備方針	<p>【多様な課題に対応する環境整備】 義務教育学校の整備にあたり、現在学校現場で課題となっている、いじめや不登校、学習意欲の低下などについて考えると、その多くは子ども一人ひとりが抱える家庭や学校でのストレスが背景にあると感じています。また、数年に一度ではありますが、美幌町においても心を痛める出来事のニュースに触れることがあり、そのたびに強い無力感を感じます。それらは特別な出来事ではなく、子どもや若者が抱える孤独や不安が表に現れた結果だと思われます。これらの課題は、指導や制度だけでなく、学校のハード面＝環境整備によって未然に防ぎ、軽減できる部分が大いと考え、以下の点について意見を提出します。</p> <p>まず、いじめるお子さん、いじめられてしまったお子さんにストレスの蓄積があると感じます。クラスに居づらいつと感じたときに一時的に過ごせるリラックスできる場所や、体を動かして発散できるスペース、誰にも会わずに登校できる複数の動線や玄関口など、子どもが自分で選択できる居場所を校内に複数確保することが重要だと考えます。</p> <p>不登校についても、突然学校に来られなくなるのではなく、「行き渋り」の段階があります。その段階で、安心して過ごせる安全な学習・滞在空間があれば、状況の悪化を防ぐことにつながると思います。</p> <p>また、5分休みでも落ち着いて利用できる、**広さと数を十分に確保したトイレ（特に女子トイレ）**の整備は、日常的なストレスを軽減するうえで欠かせないと感じます。</p>	<p>令和8年度の基本設計において、義務教育学校の具体的な整備内容を協議する予定です。</p> <p>子どもが選択できる居場所の確保、ジェンダーやバリアフリーに対応したトイレの設置、学びに向かう環境づくり、ゆとりのある教室や柔軟性のある空間設計、給食空間のあり方など、ご意見いただきました内容を踏まえ、協議を進めてまいります。</p>	<p>いただきましたご意見につきまして、今後の小中一貫教育の推進・義務教育学校の整備のための参考とさせていただき、基本構想は原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>今後、外国籍の児童生徒の増加や、宗教・文化の多様化も想定されます。</p> <p>宗教上の理由による祈りのための静かな場所や、ジェンダーに配慮した誰もが安心して使えるトイレの設置など、多様性を前提とした学校空間が必要だと考えます。</p> <p>またそのような場所があることで、生活の中で共生社会が身につくと感じます。</p> <p>学習意欲の向上という点では、授業以前の「学びに向かう環境」が大切だと感じます。</p> <p>休み時間にダンスや音楽、絵画（アート）に親しむ空間や、すぐに調べることができる「本」を中心とした学びの場があることで、学校そのものに前向きな気持ちを持てるようになると思います。</p> <p>また、今後増えるグループワークや探究学習による机の移動や教育の考え方や社会の変化により、インクルーシブ教育の考え方が、より積極的に取り入れられていく可能性もあるのではないかと思います。そのような将来の変化も見据え、学校施設については、柔軟に対応できる空間設計が重要だと考えます。</p> <p>現在のクラス編成については、支援学級の児童生徒を含めると、実質的に1クラス40人以上になることも想定されます。近年、子どもたちの発育は早まり、体格も以前と比べて大きくなっています。その点からも、教室やトイレ、生活空間については、従来の基準にとらわれず、十分な広さとゆとりを確保することが重要だと考えます。</p>		

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>さらに、義務教育学校の大きな特徴として、給食空間のあり方も重要なポイントになると考えます。</p> <p>給食を教室以外でも食べられるカフェテリア形式の空間を整備し、子どもが自由に場所を選んで食事ができるようにすることで、給食時間がより楽しく安心できる時間になると感じます。</p> <p>教員が全員付き添う必要がなくなることで給食指導の負担軽減にもつながり、子どもにとっても、クラス以外の大人との自然な対話による気分転換が期待できます。</p> <p>義務教育学校は、学年や制度をつなぐだけでなく、子ども一人ひとりの特性や状況に寄り添える「環境」をつくることが重要だと考えます。</p> <p>学習空間だけでなく、給食や休み時間を含めた生活空間の質を高めることが、安心して子供たちの成長、学び続けられる学校づくりにつながることを期待しています。</p>		

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
7	・目指す子供像と育成したい資質・能力	<p>【包括的性教育の導入】 お互いが、安心して気持ちよく学校生活を過ごしていくための手立ての中の一つとして、体や心の健康についてしっかり伝えていく必要性を感じています。学活や特別活動、道徳、生活や理科など様々な教科や領域を通じて学んでいると思いますが、系統立ててはならず十分だとは思えません。生徒指導事項があった時に対応することはもちろんですが、あたりまえの事として学ぶ場の一つが美幌町の義務教育学校であってほしいと思います。包括的性教育とは、人がよりよく成長していくために人権教育をもとに生活に結びついている「性」を幅広いテーマで学び続けることです。性加害をせず、性被害にあうことなく、お互いを大切にしあえる関係性を育める大切な内容でもあります。基本構想の【目指す子供像2】を実現していくために必要であると思いますので是非とり入れてほしいです。町内や管内の同じ思いを持つ方々と一緒に美幌町の子どもたちのために少しでもすすめていく力になりたいと思っています。よろしく願いいたします。</p>	<p>令和8年度に設置する開校準備委員会の専門部会において、小中一貫教育の具体的な取組を協議する予定です。ご意見いただきました「包括的性教育の導入」につきましては、先進事例等を情報収集の上、専門部会において協議を進めてまいります。</p>	<p>いただきましたご意見につきまして、今後の小中一貫教育の推進・義務教育学校の整備のための参考とさせていただきます。基本構想は原案のままさせていただきます。</p>